

# 岩手県の木材需給と木材工業の現況 (平成30年次実績)

令和2年4月

岩手県農林水産部  
林業振興課

## 岩手県の木材需給と木材工業の現況（平成30年次実績）の概要

### 1 木材需給の現状

平成30年次の県内需要量は127万 $\text{m}^3$ で、平成29年次の県内需要量127万8,000 $\text{m}^3$ から8,000 $\text{m}^3$ 減（前年比99.4%）となった。

また、素材生産量は151万4,000 $\text{m}^3$ で、平成29年次の素材生産量148万9,000 $\text{m}^3$ から2万5,000 $\text{m}^3$ 増（前年比101.7%）となった。

### 2 木材工業の現状

製材工場数（出力数7.5kw以上）は125工場で、平成29年次の128工場から3工場減（前年比97.7%）となった。

また、製材品出荷量は30万6,000 $\text{m}^3$ で、平成29年次の31万2,000 $\text{m}^3$ から6,000 $\text{m}^3$ 減（前年比98.1%）となった。

### 3 木材価格の推移

スギ中丸太（14～22cm、3.65～4.0m）の価格は12,600円/ $\text{m}^3$ で、平成29年次の11,900円/ $\text{m}^3$ から700円増（前年比105.9%）となった。

また、パルプ向け針葉樹チップの価格は15,500円/BDtで、平成29年次の14,600円/BDtから900円増（前年比106.2%）、パルプ向け広葉樹チップの価格は18,400円/BDtで、平成29年次の18,400円/BDtと同数（前年比100.0%）となった。

### 4 新設住宅着工の現況

新設住宅着工戸数は8,365戸、うち木造は7,033戸、木造率84%で、平成29年の着工戸数の7,809戸から556戸増（前年比107.1%）、同木造6,544戸から489戸増（前年比107.5%）、同木造率84%と同率となった。

### 5 正誤表

第1章 木材需給の現状      4 素材需要量の推移

P8 平成29年「製材」「国産材」の内訳で錯誤があったものを修正

- ・ 針葉樹 誤 474 → 正 598
- ・ 広葉樹 誤 147 → 正 23

<b>第1章 木材需給の現状</b>	
1 本県における木材（用材）需給の実績	1
2 平成30年次県内木材需給実績一覧	3
3 木材供給量の推移	
(1) 素材生産量の推移	4
(2) 輸入材入荷量の推移	5
(3) 素材生産の内訳	6
4 素材需要量の推移	7
<b>第2章 木材工業の現状</b>	
1 木材加工工場数の推移	10
2 製材工場の推移（7.5kw以上）	11
3 製材品出荷量の推移（用途別）	12
4 木材チップ工場数及び木材チップ生産量の推移	13
5 木材チップ出荷実績（年計）	14
木材チップ出荷実績の内訳	15
6 合単板工場数及び合板製造量の推移	17
7 フローリング工場数及び生産量の推移	18
8 集成材工場数及び生産量の推移	19
<b>第3章 木材価格の推移</b>	
1 製材品及び木材チップの価格	20
2 製材用素材及びパルプ用素材の価格	21
<b>第4章 新設住宅着工の現況</b>	
1 岩手県新設住宅着工戸数の推移	22
2 全国新設住宅着工戸数の推移	23
3 住宅関連資料	
(1) 岩手県新設住宅着工戸数推移の内訳	24
(2) 新設住宅着工数の内訳（平成30年）	27
<b>第5章 参考資料</b>	
平成30年次市町村別素材生産量（推定）	28
平成30年次岩手県内乾燥施設保有状況及び乾燥材生産量	29

**【統計表の記載例】**

表中に用いた記号は以下のとおり

「0」：単位に満たないもの（例：0.4千m<sup>3</sup> → 0千m<sup>3</sup>）

「…」：事実不詳又は調査を欠くもの

「-」：事実のないもの

「X」：個人又は法人、その他団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの